

平成 23 年 6 月度県内産業景気動向調査結果

この調査結果は、中小企業庁の指定事業に基づいて設置された山口県内の情報連絡員 60 人に、本会が新たに選んだ 20 人を加えた 80 人の連絡員より業界動向を把握した結果です。

山口県の主要指標 DI 値（平成 23 年 6 月末現在）

※DI 値とは、前年同期に比べ「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値です。

業界の景況（＜好転＞－＜悪化＞＝＜DI 値＞）

前年同月比は、好転：0.0% 悪化：57.5% DI 値：▲57.5% ポイント

売上高（＜増加＞－＜減少＞＝＜DI 値＞）

前年同月比は、増加：11.3% 減少：57.5% DI 値：▲46.2% ポイント

収益状況（＜好転＞－＜悪化＞＝＜DI 値＞）

前年同月比は、好転：5.0% 悪化：62.5% DI 値：▲57.5% ポイント

山口県の業種別 DI 値(業界の景況)（平成 23 年 6 月末現在）

 30 以上	 10～30 未満	 10 未満～▲10	 ▲10 超～ ▲30 未満	 ▲30 以上
--	---	--	---	---

食料品	織 維 工 業	木材・ 木製品	印 刷	窯業・ 土石製品	一 般 機 器	輸 送 機 器	全 製 造 業
▲50.0	▲50.0	▲66.7	▲100.0	▲50.0	▲30.0	▲50.0	▲48.5
							

卸売業	小売業	商店街	サービ ス 業	建設業	運輸業	全 非 製造業	全 体
▲80.0	▲66.7	▲75.0	▲46.2	▲44.4	▲100.0	▲63.8	▲57.5
							

特記事項（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）

食料品	<p>高速道路割引が終了し、S Aと取引のある会社の売上が減少している。依然として顧客の購買意欲は低調である。</p>	パン・菓子製造業
	<p>5月度は▲4.2%と大幅売上減少。GW期間は+7.4%と好調であったが、その後例年より天候の悪い日が続き、客足が鈍ったことが不振の原因。6月度は22日時点で+5%の推移。8～13日に、伊勢丹新宿店での「チアアップ日本の食展」に招待出展、オイルルージュや魚生ハム製品をPRした。いずれもレアなローカル商品であるため、注目を集めた。熊谷喜八シェフによる萩食材のレシピ本「キハチのさかな・萩のサカナ」がポプラ社より7月初旬に発売予定。K I H A C H I銀座店にて、首都圏メディア向けの発表会を開催。</p>	水産食料品製造業 萩市
	<p>東日本大震災後の節約志向（スマートな生活）が消費にじわじわと影響しているように思う。節約も大切なことだが、夏季の商戦に向けて、困難であるが、消費を伸ばす手立てを検討しないといけない。ここに来て原油高に伴う資材関係の値上げが多く見られ、価格に転嫁できず頭を悩ます。</p>	水産食料品製造業 下関市
繊維工業	<p>テント業界では震災の影響（風評被害）は今のところ報告を受けていない。</p>	帆布製品製造業
	<p>先月と変化無く、受注単価の低下と高価格・高付加価値商品の売上の減少で経営的には苦戦が続いている。今後、この節約ムードが日用雑貨にまで広がると思われ、回復の見通しが見えない。組合員企業全体が、操業を続けるのに一杯一杯になっており、時期が来れば人員削減を実施せざるを得なく、高齢化も一段と進んでいるため、一気に人員が減少する可能性がある。</p>	下着類製造業
	<p>消費意欲が減退している。東日本だけでなく、全国的に悪化している。</p>	外衣・シャツ製造業 山口市
	<p>福島原発の影響で中国人実習生が帰国し、生産予定が立たず規模を縮小している所が増えている模様。その為か、仕事量は戻りつつあるが、相変わらず加工賃は厳しい。</p>	外衣・シャツ製造業 下関市
木材・木製品	<p>住宅着工率が低調で、回復の兆しは一向にない。</p>	製材業・木製品製造業 下関市
	<p>今月も小学校の材料受注があるので昨年よりは良いですが、全般的な景況は悪い。</p>	製材業・木製品製造業 岩国市

印刷	<p>需要が構造的に減少中、震災の影響で用紙・インキが不足し、値上げの動きあり。政治の堂々巡りは先行き不透明感を増し、事業者も身動きが取れずにいる。</p>	印刷
	<p>業界は印刷物件が減少し、かつ過大な価格争いでどこが先に廃業（倒産）してもおかしくない状況。</p>	
窯業・土石製品	<p>中部協組、岩国協組地区を除く、4地区では出荷量増。しかし、全体では対前年度同月比91%に減少。現時点では特に問題は発生していないが、今後、東北地方の復旧復興が、本格化した時点での、セメント・骨材等の資材調達は、不透明。</p>	生コンクリート製造業
	<p>出荷量については、対前年比で骨材：78%、路盤材：92%、再生材：65%。全体では、対前年同月比79%。前年同月と比べ、落ち込みが激しい。現場での材料の入荷は東日本大震災の影響で入ったり入らなかったりが続いている模様。入札自体が減っている為、工場の機械稼働率も並行して下がっている。</p>	砕石製造業
一般機器	<p>業況順調。東日本大震災の影響は無い。</p>	宇部市
	<p>大震災以降の部品供給逼迫は、解消されつつあるものの、納期遅延やコストアップが顕著となっている。今後夏場に掛けて生産は上向く傾向にあるが、電力供給の動向が懸念される。</p>	柳井市
	<p>定期補修工事が始まるが、状況は昨年と同じ。</p>	周南市
	<p>東日本大震災の影響による受注減。</p>	下関市
	<p>取引先が海外への拠点を移管しようとする動きもあり、それに伴った受注の減少が懸念される。</p>	周南市
	<p>6月は東日本大震災の影響が残って、物心両面で身構えた状態。今後徐々に回復することに期待する。復興関係で鉄骨関係の需要が出ている。マツダ関連は7月以降に期待している。鉄鋼業界は泣かず飛ばずの状態。</p>	防府市
	<p>5月度の受注が活発だったので、工場の操業度は上がって来た。6月度に於いては、商談件数も多く来ているが、すぐには受注に結び付かない。現在、東日本大震災の影響も少なくなり、少しずつではあるが回復してきているのではないかと思われる。また、海外案件の商談が増えて来ている。特に中国案件が多いが、国内の仕事を中国又は東南アジア地域にシフトしている企業が多く見られる。</p>	特殊産業用機械製造業
輸送機器	<p>親企業の受注量に陰りがみられ、また、コスト低減要請も強く、厳しい経営を強いられる局面に入ってきた。東日本大震災の影響もあり、親企業の受注が</p>	鉄道車両・同部品製造業

	増す環境にないのが問題である。	
卸売業	直接的な震災の影響はあまり感じられなくなったように思えるが、政府の対応等の不信感からか、回復活力が感じられない。	柳井市
	景気は相変わらず、低迷停滞。「節約・節電」が強まっており、消費も家電・食品・衣料等は低迷している。特に食品の価格上昇傾向、原材料の価格高騰傾向は続いている。厳しい状況にあるが、今の環境は当面続くと予想され、人件費等の経費削減を図りつつ受注（売上高の確保）の安定化に期待している。	周南市
	先が見えないと嘆いている社長が多い。夏に向けて節電対策を行っている事業所が多い。	防府市
	各業種とも前年より売上が減少していることに苦慮している。今後の見通しが見えない。	下関市
小売業	業界としては、あまり変化がない。組合として取り組んでいる資生堂健康食品の販売コンテスト18期連続達成と、組合専用商品のKIRYO前年対比の仕入れコンテスト全国3位をみんなの協力で達成できたことは大変良かった。7月6日に広島で中国ブロック大会が開催されるが、山口県からは12名参加する。来年は山口県の引き受けとなる。	化粧品小売業
	東日本大震災の影響は、徐々に薄れてきているものと思われ、高額品も動き始め、取扱高は前年同月比、プラスに転じた。	山口市
	入館者数減、売上苦戦。	下関市
	東日本大震災の影響とは関係なく、全体的な売上及び客数の減少傾向が続いており、消費回復にはまだ時間を要すると思われる。	長門市
商店街	梅雨時の人出が例年に増して少ない。「個人が東北を買い支えようという動き」も減少しつつある。①場所を貸すから売らないか。②委託で売らせてほしい。等、団体でパフォーマンスの動きはあるものの、首を傾げたくないような仕掛けの話が多い。	山口市
サービス業	美容業は震災の影響はあまり受けないと思っておりましたが最近の理事会で「お客様の来店数が少ない」との話が出ている。遠くでの震災であるが、消費者の方が落ち込んでいるように思う。	美容業
	依然として組合員の自由脱退が続いており、組織の弱体化が進んでいる。	理容業

<p>5月の新車販売も対前年比が大きく落ち込んだが、各メーカーの復旧が進み、一部車種を除き納車時期の明示が出来るとともに納車時期も早まってきている。販売は正常化へ向けて前進しているように思われる。また、修理部品についても、一部不足が報じられ、全体的な供給不足が心配されたが現状では部品不足による大きな影響は出ていない。</p>	自動車整備業
<p>自動車販売が少しずつ回復し、それに伴う修理、取付も戻りつつある。先月に比べて良くなかったが、依然取り巻く環境は厳しい。</p>	情報サービス業
<p>状況は、先月とあまり変わっていない。ただ、システム開発案件は、閉塞感が否めない。首都圏では、現在、支度金を積んで技術者を集めているので、採用単価は70万円/人は、最低かかる。中小企業は、経験者採用には、非常に難しい状況にある。やはり、経営コンサルあたりから入らないと、システム開発案件は受注できない状況がある。いままでのノウハウを集約して、お客さまへの提案が重要。システム技術者派遣は、価格も厳しいし、大手が社内体制をつくっているの、厳しい状況にある。</p>	情報サービス業
<p>依然として厳しい状況が続いている。新たな需要を掘り起こしていかなければならない。</p>	情報サービス業
<p>国体に向けて活性化することを期待している。</p>	屋外広告業
<p>対前年比に変化なし。不況慣れで客数が減少のまま一服感がある。収益状況の悪化は、廃業の一步手前である。食材の値上げが始まり、価格に転嫁出来ず収益状況は泥沼化してきた。防府では、マツダの操業復興に伴い、久々に宴会があった。4ヶ月を迎えるのに本格的な復興景気が回って来ない。</p>	飲食業
<p>1月～4月までの各月とも売上（宿泊客数×単価）が減少していたが、5月によりやく前年対比3%の増加を見た。今後、土日祝日の高速道路料金上限千円の実験が終了したことの影響が懸念される。</p>	旅館業 萩市
<p>宿泊人員は、前年度並みと予想されるが、これは、国体がらみのスポーツ大会によるもので、本来の観光客はまだ戻って来ていないと思われる。</p>	旅館業 山口市
<p>東日本大震災以降の業況は、依然として厳しい。5月のゴールデンウィークのみが前年並みの集客であったが、その他は落ち込んでいる。6月になっても、関東以西に旅行者が増える状況にはなっていない。県内の他地域も苦戦を強いられており、雇用状況もそれに連動し悪化、価格も下がることはあっても上がることは無い現状。廃業を決意される経営者が増</p>	旅館業 下関市

	えており、廃業の決断も早くなった。関東以東の状況が回復すれば、精神的な重圧等々から脱却でき、人の流れが活発になり、観光関係の状況も改善されると思う。	
建設業	多少仕事の話はあるが、条件はかなり厳しいものである。これから先、仕事を継続して行くのが大変。	鉄骨工事業
	6月は、中電への工事申請316件（当支部分279件）、前年同月は179件（同152件）。LED街路灯への切替申請と新設で68件あった。太陽光発電への申請10件、オール電化申請も17件と通常月より減少したままである。受注工事金額はきびしい状況である。	電気工事業
	東部地区の一部では公共工事が出つつあるが、他県のゼネコンの受注が多いので地域にプラスになっているか疑問。東日本大震災の影響で、材料などの入荷予定日よりの遅れが鮮明になってきた。	左官工事業
	県の土木工事、建築工事とも低入札調査価格が2～3%上がったため、入札価格は上昇したが、工事発注量が継続して減少しているため、依然低調。民間の建築工事価格が、公共工事の10%程度減の為、地元受注が少ない。	土木工事業 柳井市
	これから2～3ヶ月は例年通り、公共工事の発注が0円になるかも知れない。	土木工事業 周南市
	毎年端境期の時期であるが、それにしても仕事が無い。東北でお呼びがあれば、行きたいという業者もある。	土木工事業 岩国市
	23年6月の受注高は、対前年同月比75%。今年度の累計は、対前年比114%。	土木工事業 萩市
運輸業	輸送関係：中旬過ぎまで稼働も順調であったが、後半の稼働は大きく減少。東日本大震災による低下もさることながら、資材及び附随する物資等の値上がり次第に浸透しつつあることもその一因に思える。長距離物資輸送の減少や帰り荷の獲得も関東方面からの積載物資が無く、対前年比で35%減少。油関係：2.7円の値下げ。原油値下げは評価するも、輸送業者の経営は苦境の中にある。	一般貨物自動車運送業 下松市
	6月分軽油価格：10あたり、SS価格113.5円、インタンク（タンクローリー配送の運輸会社の備蓄分）価格106円。中間に一時2～3円の値下がりがあったが、23日、24日頃に値上がり、さっぱり状況が読めない。荷動きが悪く、景気上昇の望みなし。組合のETC事業も下り気味。事業運営の見通しもよろしくない。	一般貨物自動車運送業 下関市

<p>6月に入り各荷主先にバラつきはあるものの、ようやく稼働は前年並みに落ち着いてきた。しかしながら、未曾有の東日本大震災による影響は計り知れないものがあり、今後の状況は予断を許さない。燃料価格は高止まりの状況にあり、コスト負担は依然として続いている。</p>	<p>一般貨物自動車運送業 防府市</p>
<p>東日本大震災の影響で落ち込んだ輸送量は、前月に比べ持ち直してはいるが、前年に比べ運賃の低下、燃料価格の高騰により収益状況は、減少している。</p>	<p>一般貨物自動車運送業 岩国市</p>
<p>相変らずの傾向だが、売上高は前年同月比より増えている。しかし、利益が出ない状況である。理由は運賃が非常に厳しいことに尽きる。我々の顧客側も同様に経営内容が厳しくなっているため、運輸業界も更なる改善策を検討していかなければならない。</p>	<p>一般貨物自動車運送業 宇部市</p>
<p>給油量から見る操業度の状況は、対前年同月比で106%と3ヶ月ぶりに6ポイントのアップとなった。この要因は、萩・三隅道路工事が「少し遅れている」との事でダンプ車の稼働がUPした為、関係会社合計の給油量が対前年同月比で114%と14ポイントのアップの状況。運送関係の荷動きの状況は前年を下回っている状態。一方の油価格は先月からは5.0円ダウンの105.5円/ℓですが、対前年同月比では13.0円と大幅アップの状況が続いている。</p>	<p>一般貨物自動車運送業 萩市</p>
<p>タクシーチケットの取扱い金額は、前年比▲4.8%（5月1日～6月20日分）。5月1日～31日分は▲5.5%の減少、6月1日～20日分については▲4.0%の減少。震災から3ヶ月経過し、減少幅は少しずつ縮小される傾向にあるが、まだ前年同月の金額までは回復していない。</p> <p>燃料のLPGについては、CP（通告価格）と為替に連動して変動するが、5月のCP急騰を受け、前年同月比+12%の上昇。7月分は少し戻る予定ですが、基本的に高値状態にあり、各事業者の経営に悪影響を与えている。</p> <p>震災復興や山口国体が契機となって、本格的な景気回復につながる事を大いに期待している。</p>	<p>一般旅客自動車運送業</p>